

(令和3年度)

【写真と言葉で伝える私たちのふるさと】

目的

- 戦後・経済発展や近年の変化に伴い、長い歴史の中で構築されて来た日本人の暮らし「知恵の結晶」である民家・町並み・里山、里海の自然などが保護されないまま、日々壊され燃やされ失っているのが現実であります。

かつて民家はそこに住む人々の暮らしの中で住民の手により磨かれ、思い出を刻み込まれ大自然の脅威にさらされても、恵みに育まれ長い時間をかけ築かれた文化そのものであったに相違ありません。歴史と伝統に培われた民家や町並みが、より美しく心が落ち着くのは素朴さの中から生まれた「美と匠の伝承」が今を生きる私達の五感に「息吹」と「力」を醸し出します。

私達がこれから創り上げる 21 世紀の故郷と、どう対峙すべきか・物質文明の反省点に立って「物」から「心」へと視点を変えコロナ禍の中皆が暗中模索ですが永久に不変なものは「本物」と確信しております。

趣旨

本大会は次世代の主演である全国の高校生の目線でレンズを通して地域に問いかけ、写真と言葉で伝える私達のふるさとを合言葉に身近で気付かなかった故郷の素晴らしさを映像と活字に残し、若者が社会に巣立ちどこに行っても故郷の自然や町並み文化を声にして伝え、やがてお父さんお母さんに成った時次世代に何を残すべきかを必ずや認識出来ると確信しています。

此れからの時代を担う高校生諸君に私達大人が責任を持ってバトンを渡せる様に、君達の熱いメッセージを社会の警鐘と受け取り立ち止まってみる必要があるのではないかと考えます。

昨今政治経済、医療、生活と全ての価値観が此れ迄とは違って大きく変わり、未曾有の災害を経験して、人間の「心」と地域の「かたち」が今改めて問い正す【変】にあたるのでは無いでしょうか。

『民家の甲子園』は単なるフォトコンテストでは無く、この大会の目的・趣旨を御理解頂き一層の支援を承りますようお願い致します。